令和２年度上期

鹿児島県地域年金事業運営調整会議

令和２年７月

日本年金機構
Japan Pension Service

目　次

１．地域年金展開事業の概要　２～４Ｐ

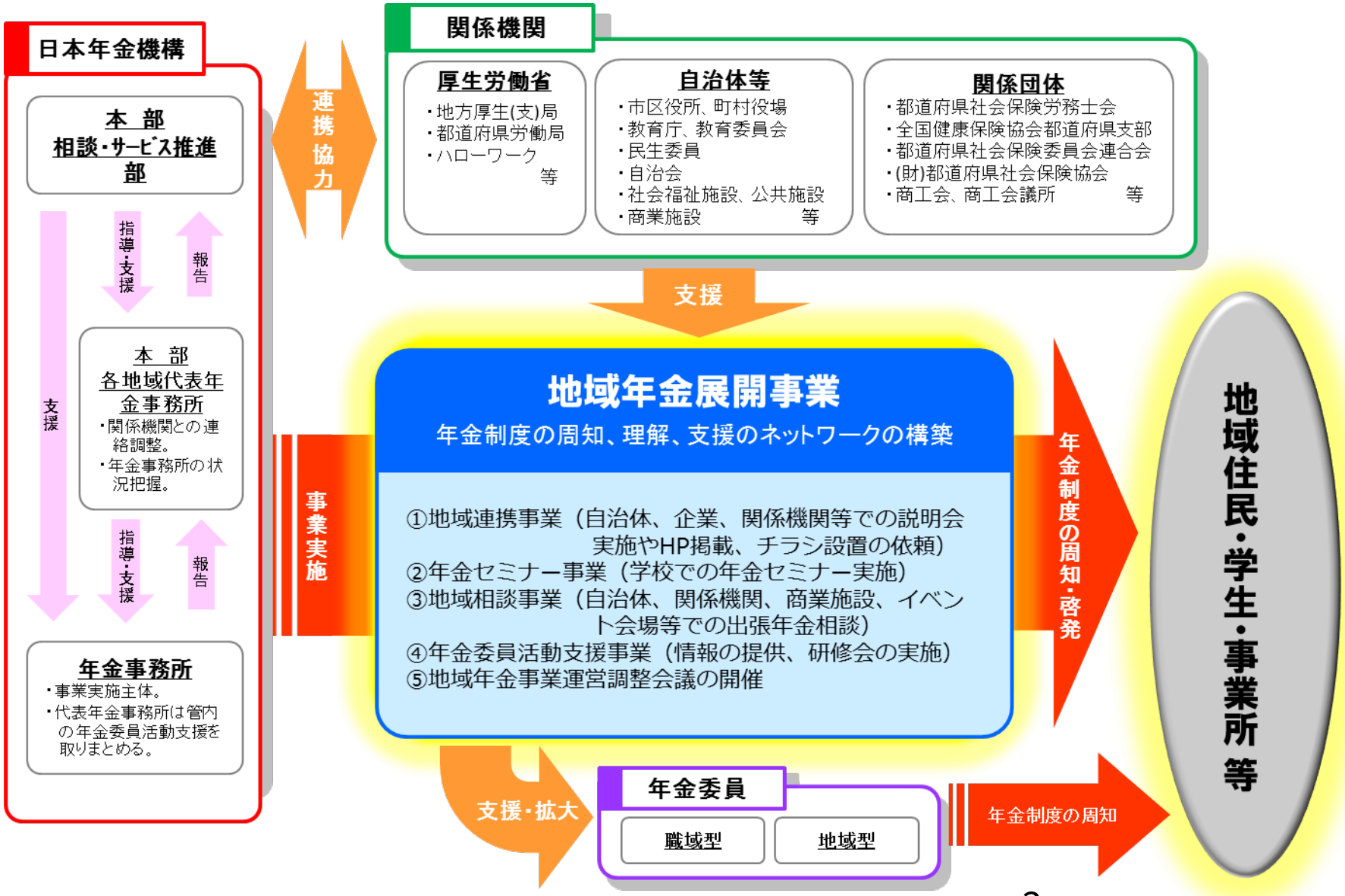
２．平成３１年度事業実施結果報告　5～２５Ｐ

３．これまでの会議における主なご提言への取組状況　２６Ｐ

４．令和２年度事業計画　２7～２８Ｐ

１．地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業の概要



地域年金展開事業の主な取組

◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上などのため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」「出張年金相談」などを実施する。

◆日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動、都道府県ごとに関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を開催のうえ、事業推進の意見や助言を伺い事業展開を図る。

地域連携事業	職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体などに出向き、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。 市区役所・町村役場の広報誌や行事などを通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配布の依頼など。
年金セミナー事業	職員が、大学や短大、専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。 大学での学生納付特例制度の相談・申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配布の依頼など。
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場などで、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員 活動支援事業	年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシなど活動に役立つ情報を提供。
ねんきん月間	大学生等に対する学生納付特例制度の周知及び市区町村役場及び商業施設等での各種相談会や納付相談会等を集中的に行い、公的年金制度に対する正しい理解の促進を図る。
地域年金事業 運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発などの検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関などを委員として都道府県単位に設置。

２．平成３１年度事業実施結果報告

○地域連携事業

計画

市町村

① 窓口へのポスター掲示等

②広報誌への記事掲載

③ 職員への年金制度説明

④ 都市国民年金協議会への参加

⑤ 市区町村担当職員向け情報誌「かけはし」の配布

実績

① 市町村の窓口へ法律改正等のポスター掲示及びリーフレット等配置

② 市町村広報誌へ年金に関する記事を提供（出張相談日程等）

③ 市町村職員への研修会を下記のとおり実施

事務所	実施日	対象市町村	対象者	参加
鹿児島北	6月11日	県内	国民年金事務担当者	58名
鹿児島北	7月23日	日置市	国民年金事務担当者	7名
鹿児島北	12月24日	鹿児島市	国民年金事務担当者	15名
鹿児島南	5月24日	管内市町村	国民年金事務担当者	17名
川内	11月22日	管内市町村	国民年金事務担当者	14名
加治木	6月7日	管内市町	国民年金新任担当者	12名
鹿屋	6月7日	管内市町村	国民年金事務担当者	20名
奄美大島	5月17日	管内市町村	国民年金事務担当者	18名
奄美大島	11月15日	管内市町村	国民年金事務担当者	17名

④ 第72回鹿児島県都市国民年金協議会への参加（10月8日、西之表市開催）

⑤ 情報誌「かけはし」の配布（1月、3月、5月、7月、9月、11月）

総括及び課題

【総括】

① ねんきんネット利用案内に関するポスター・リーフレットを市町村に送付し協力を依頼。また、アニュアルレポートも送付し、事業状況について報告を行った。

② 出張相談日程等について「市政だより」に掲載した。（鹿児島南、川内、加治木）

③ 市町村職員への研修については、各年金事務所毎に定期的に行っている。

④ 九州厚生局や九州地域第二部代表年金事務所熊本東年金事務所と協力しつつ、各市町村からの質問事項や要望に対する回答を行った。

⑤ 情報誌「かけはし」を用いた国民年金制度の周知・広報

【課題】

○ 情報提供や報告連絡相談の充実を図り、市町村担当職員との意思疎通を更に向上させる。

計画	実績	総括及び課題

社会保険労務士会

① 鹿児島県社会保険労務士会との定期協議

① 鹿児島県社会保険労務士会との連絡会議
参加者：鹿児島県内副所長と社労士会長及び副会長等

社労士会	実施日	場所	主な議題	参加
鹿児島県	毎月	労務士会		
鹿児島地区	8.28	鹿児島サンロイヤルホテル	行政等連絡協議会	62名
霧島地区	9.7	ホテル京セラ	行政等連絡協議会	34名
北薩・串木野地区	10.9	川内ホテル	行政等連絡協議会	35名
大隅地区	10.11	ホテルさつき苑	行政等連絡協議会	28名
奄美地区	10.18	奄美観光ホテル	行政等連絡協議会	13名

【総括】
○ 予定を計画的に実施できた。

② 会員への研修

・毎月会議の開催
鹿児島北年金事務所副所長、社会保険労務士会より参加。
街角の年金相談センターオフィス長も4半期に1回参加。
②社労士への研修は下記のとおり実施した
・他に事務所の月次及び週次の時間外職員研修に社労士が任意参加

③ 算定基礎研修会

③令和元年度における算定基礎届事務の研修会を実施する。

	日時	場所	主な議題	参加
	6.18	鹿児島サンロイヤルホテル	算定基礎届について	名
				名

○ 全国健康保険協会との連携
協会けんぽからも参加し下記について研修を行う。

「制度改正とその他周知事項について」

④ 出張年金相談の実施

④各事務所での出張相談への参加

【課題】
○ 事務処理誤り防止に向けた、研修及び教育・指導における協力連携の強化を更に図る。

○ 増える年金相談への対応

計画		実績	総括及び課題
社会保険委員会	① 鹿児島県社会保険委員会の会議での年金制度説明及び事業協力要請	① 鹿児島県社会保険委員会と事業連携し、年金制度の説明を行うとともに事業協力を要請（出席：所長、副所長等） ※　委員会総会へ参加他	【総括】 ① 各支部についても管轄の年金事務所において事業協力が行われており、年金制度周知を図っている。 ② 熊本、宮崎、鹿児島、沖縄の4県で1年に1回各県持ちまわりで連絡会議が開催されている。 本年度は那覇市において、開催された。会議において年金制度の説明及び事業協力依頼等が行われた。 【課題】 ○社会保険委員会では加入者数が減少している状況であり、組織強化のためにも連携しながら、情報提供の同意があった年金委員及び健康保険委員に関して、社会保険委員会の周知を行うなど、相互での協力を強化する必要がある。 ○　鹿児島県 平成30年3月末・・・・1,697人 平成31年3月末・・・・1,681人 令和 元年12月末・・・ 1,680人
	② 南九州四県委員会での年金制度説明及び事業協力依頼	② 那覇市で開催された南九州四県委員会に鹿児島県内の委員が参加し、各県の活動報告、意見交換会を実施する。 （当日参加者数：103名、鹿児島県内参加者：29名） ※　令和2年度は10月23日宮崎県で開催予定 **南九州四県社会保険委員会** **連合会連絡会議** 日時：令和元年11月1日 場所：沖縄県那覇市	

委員会名	日程	内容	参加者
鹿児島北支部	5/29	年金制度説明	４０人
鹿児島南支部	5/24	年金制度説明	４５人
加治木支部	5/23	年金制度説明	２８人
川内支部	5/22	年金制度説明	４６人
鹿屋支部	5/24	年金制度説明	４５人
奄美大島支部	4/11	年金制度説明	９人
奄美大島支部	11/21	年金制度説明	８人

計画		実績	総括及び課題
社会保険協会	① 広報誌への記事掲載	① 社会保険協会発行の広報誌「社会保険かごしま」へ年金に関する記事を掲載(隔月) 送付数：約11,500　部 （県内の協会会員事業所） ・毎月「広報委員会」を開催 年金事務所、協会けんぽ、社会保険協会	【総括】 ① 隔月で社会保険協会加入事業所へ送付している広報誌に年金制度周知関係の記事及び出張年金相談の日程などの記事を掲載している。 ② 社会保険協会主催の事務講習会に、年金事務所から講師を派遣して年金制度の周知を図っている。 ③ 年金委員表彰式の開催に際して、年金委員活動の活性化のためには、事業主の理解と協力が不可欠のため、本年度も社会保険協会に共催いただいている。
	② 研修会への講師派遣	② 社会保険協会主催の講習会・セミナーに講師の職員を派遣 ※ 社会保険協会主催で、県内各地で新任事務、担当者研修会実施 18回会場　（448人参加）	【課題】 ○ 事業主を会員とする社会保険協会は、年金制度の周知及び啓発において重要な団体であり、更に連携協力を強化しながら、事業推進を図っていく。 ○ 研修内容の検討が必要である。 令和元年度は「事務手続きの変更点」 「在職老齢年金について」 上記2点について説明を行った。
	③ 社会保険協会と共催した年金委員表彰式の実施	③ 年金委員・健康保険委員表彰式(11/15　場所：鹿児島市) 主催：日本年金機構・全国健康保険協会 共催：社会保険委員会・社会保険協会 （※詳細は、「ねんきん月間」及び「年金の日」による取組にて報告）	

事業	地区	場所	実施年月日	参加者
新任担当研修会	川内地区	川内文化ホール	5/21	２２人
新任担当研修会	鹿屋地区	鹿屋市農業センター	5/23	２４人

<table>
<tr><th></th><th>計画</th><th>実績</th><th>総括及び課題</th></tr>
<tr><td>全国健康保険協会</td><td>① 定期的な連絡調整

② 健康保険協会と共催した年金委員表彰式の実施</td><td>① 毎月、年金事務所、社会保険協会職員と隔月発行の「社会かごしま」掲載記事の内容について「広報委員会」を開催

② 年金委員・健康保険委員表彰式（11/15　鹿児島サンロイヤルホテル）
主催：日本年金機構・全国健康保険協会
共催：社会保険委員会・社会保険協会
（※詳細は、「年金月間」及び「年金の日」による取組にて報告）</td><td>【総括】
① 会議による定期的な連絡調整や臨時の情報交換等により組織間の協力連携体制は図られている。
② 年金委員表彰式は以前より合同で実施しており、研修会も含め盛況に実施できた。
【課題】
○ 今後も更なる協力連携を進めるため、相互での意見調整を図る。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>① 民生委員・児童委員、社会福祉協議会等への年金制度説明</td><td>① 民生委員・児童委員等に対し年金制度に関する説明会を開催
<table><tr><th></th><th>日時</th><th>場所</th><th>主な議題</th><th>参加</th></tr><tr><td>鹿児島南</td><td>12/2</td><td>指宿地区民生委員</td><td>年金制度説明</td><td>65名</td></tr><tr><td>鹿児島南</td><td>1/15</td><td>枕崎地区民生委員</td><td>年金制度説明</td><td>60名</td></tr><tr><td>川内</td><td>10/10</td><td>薩摩川内市
社会福祉協議会</td><td>年金制度説明</td><td>40名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>9/5</td><td>霧島市民児協連合会</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>15名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>10/9</td><td>牧園地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>35名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>10/11</td><td>姶良地区官公署長
協議会</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>25名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/7</td><td>福山地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>30名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/7</td><td>姶良地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>85名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/8</td><td>加治木地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>38名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/8</td><td>湧水町民児協</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>53名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/12</td><td>溝辺地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>30名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/13</td><td>蒲生地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>25名</td></tr><tr><td>加治木</td><td>11/14</td><td>横川地区民生委員</td><td>年金制度説明・相談予約</td><td>25名</td></tr></table></td><td>【総括】
様々な方面へ事務説明会や研修会を実施できた。

【課題】

今後も新規開拓を含め継続して取り組み、良好な関係維持に努める。

市町村の国民年金担当職員を通じて、民生委員等への協力依頼が必要である。

※加治木年金事務所は管内の民生委員等の会合へ積極的に参加し、年金制度等の説明を行っている。</td></tr>
</table>

計画		実績	総括及び課題
その他	② 事業所での年金制度説明会、社会保険事務担当者に対する説明会及び研修会		【総括】 様々な方面へ事務説明会や研修会を実施できた。 【課題】 今後も新規開拓を含め継続して取り組み、良好な関係維持に努める。 ①前年度から49名の参加者減。 ②対象事業所（前年度新規適用事業所）の選定を再考する必要があると思われる。 ・令和２年度は、全事務所で「算定基礎事務説明会の中止

加治木	12/2	隼人地区民児協	年金制度説明・相談予約	65人
加治木	12/5	伊佐市民児協	年金制度説明・相談予約	130人
加治木	12/10	国分地区民児協	年金制度説明・相談予約	100人
加治木	12/13	霧島地区民児協	年金制度説明・相談予約	25人

※ 社会福祉協議会、ＪＲ鹿児島中央駅、鹿児島市交通局、葬儀社等へ「年金相談予約制」、「ねんきんネット」の周知のポスター、パンフレットの掲示依頼を行う。

② 年金制度説明会の開催、社会保険事務担当者向けの算定基礎事務説明会、研修会を開催

	日時	場所	主な議題	参加
鹿児島北	6/25	鹿児島県民交流センター	算定基礎事務説明会	86名
鹿児島南	6/20	鹿児島市民文化ホール		74名
川内	6/27	薩摩川内市国際交流センター		65名
加治木	6/19	加音ホール		44名
鹿屋	6/24	鹿屋市中央公民館		54名
奄美大島	6/21	奄美振興会館		25名
合計				348名
		30年度		392名

◯年金セミナー事業

計画

年金セミナー

① 年金セミナー実施に向けた教育機関への積極的な協力依頼

② 鹿児島北、鹿児島南、川内、加治木、鹿屋、奄美大島年金事務所ごとに、管轄地区の学校に対して文書依頼した後、個別に電話及び訪問でのアプローチを行い、セミナーを実施する。
（平成３０年度実施校の継続実施に努める）

実績

① 年度当初（４～５月）県代表の鹿児島北年金事務所より鹿児島県教育庁教育委員会に対して協力依頼を行った。
② 実績は以下のとおり（目標には昨年度実績を計上）

		目標	大学短大	専門学校	高等学校	中学校	支援学校	計	昨年度実施結果
鹿児島北	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	40回	回	回	回	回	回	回	40回
	ｾﾐﾅｰ	26回	4校 4回	8校 13回	1校 6回	0校 0回	0校 0回	13校 23回	21校 26回
鹿児島南	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	3回	0回	0回	3回	0回	0回	3回	3回
	セミナー	5回	0校 0回	0校 0回	1校 1回	0校 0回	0校 0回	1校 1回	5校 5回
川内	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	13回	1回	0回	14回	0回	1回	16回	13回
	セミナー	12回	2校 2回	0校 0回	8校 8回	0校 0回	1校 1回	11校 11回	11校 12回
加治木	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	12回	4回	3回	5回	0回	0回	12回	12回
	セミナー	11回	2校 2回	3校 3回	4校 5回	0校 0回	2校 2回	11校 12回	10校 11回
鹿屋	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	10回	0回	2回	8回	0回	0回	10回	10回
	セミナー	7回	0校 0回	2校 2回	2校 2回	0校 0回	0校 0回	4校 4回	7校 7回
奄美大島	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	26回	0回	1回	16回	0回	0回	17回	26回
	セミナー	7回	0校 0回	1校 1回	7校 7回	0校 0回	0校 0回	8校 8回	7校 7回
合計	ｱﾌﾟﾛｰﾁ	87回	回	回	回	回	回	回	87回
	セミナー	68回	8校 8回	14校 19回	23校 29回	0校 0回	3校 3回	48校 59回	61校 68回

総括及び課題

【総括】
① 教育機関における協力依頼については、例年どおり関係機関に赴き、地域年金展開事業についての継続した協力依頼を行い、鹿児島県内の学校に関してのセミナー実施と周知広報について賛同をいただいた。
また、運営調整会議の委員をお願いしている、鹿児島県県教育庁高校教育課にも継続した協力を依頼した。

② 県内の大学、短期大学等に新規実施に向けてアプローチを行った。

【課題】
◯ セミナーに関しては、「新型コロナウィルス感染症予防」のため、2月、3月の実施ができなかった。
◯ 令和2年度上期は中止。アプローチも中止。

	計画	実績	総括及び課題
年金セミナー	③　地域年金推進員の委嘱	③　１名委嘱中 • 県内の高校及び中学校に赴きセミナー実施の依頼を行うとともに、講師として活躍していただいた。	【総括】 ○ 学校との連絡調整及びセミナー講師として積極的に活動を行っている。 【課題】 〇令和2年3月で解職。 ○ 現在関係機関を通じて委嘱勧奨中。近日中に面談実施予定。
わたしと年金エッセイ	① 年金制度の意義や公的年金制度と国民の結びつきなどについて考えていただくため、ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度とのかかわりについてエッセイを募集する。	①　・県立及び私立高等学校校長会へ年金エッセイ募集の協力依頼を実施 ・教育委員会に対し、年金エッセイの募集の協力依頼 ・高校、大学等へ年金セミナーのアプローチに加え、年金エッセイの協力依頼を実施 ・本年は「鹿児島県立中央高等学校」から３名の募集	【総括】 〇全国では昨年を上回る1,290件（うち学生からは1,186件）の応募あり。 【課題】 〇年金セミナー実施校へのさらなる協力依頼を行う。 〇教育庁高校教育課、義務教育課を訪問し募集依頼のポスター、パンフレット掲示依頼。
リーフレット等の設置	① 大学等に対し、学生納付特例制度に関するポスターやリーフレット等の設置を依頼する。	①　九州厚生局　年金調整課の「学生納付特例制度アンケート」により、パンフレットを送付	【総括】 〇大学への設置依頼を要する。 【課題】 〇学生納付特例事務法人の勧奨を継続的に進め、更なる利便性及び申請率向上を図る必要あり。

○地域相談事業

計画		実績	総括及び課題
自治体（市町村）	① 遠隔地の市町に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設	① 各市町における実施結果は以下のとおり	【総括】 ① 計画どおり実施することにより、年金事務所から遠隔地の地域住民の利便性の向上が図れた。また、市区町村との協力連携の向上に寄与した。 【課題】 ① 地域住民のニーズに応えられるよう、関係機関と連携して取り組む必要あり。 ・隔月開催を毎月開催への要望への対応 ② 完全予約制のため、日程調整が合わず翌月の予約になることがある。 ③ 年金事務所の人員では体制が取れず労務士会からの応援が必要。 ④ 新型コロナウィルス感染症予防対策を講じる必要がある。

年金事務所	実施月	市区町村	事業名	回数	相談者数
鹿児島北	毎月	日置市	出張相談	8回	152人
	毎月	西之表市	出張相談	16回	247人
	隔月	南種子町	出張相談	2回	24人
	隔月	中種子町	出張相談	2回	30人
	隔月	屋久島町	出張相談	6回	91人
鹿児島南	隔月	指宿市	出張相談	9回	49人
	隔月	枕崎市	出張相談	9回	57人
	隔月	南九州市	出張相談	9回	32人
	隔月	南さつま市	出張相談	8回	68人
川内	毎月	出水市	出張相談	9回	154人
	隔月	薩摩川内市	出張相談	2回	16人
	隔月	阿久根市	出張相談	4回	34人
	四半期月	いちき串木野市	出張相談	3回	19人
	隔月	さつま町	出張相談	3回	17人
	隔月	長島町	出張相談	3回	18人
加治木	毎月	伊佐市	出張相談	9回	165人
	隔月	湧水町	出張相談	3回	34人

○地域相談事業

計画	実績	総括及び課題
自治体（市町村）	① 各市町における実施結果は以下のとおり	【総括】 ① 計画どおり実施することにより、年金事務所から遠隔地の地域住民の利便性の向上が図れた。また、市区町村との協力連携の向上に寄与した。 【課題】 ① 地域住民のニーズに応えられるよう、関係機関と連携して取り組む必要あり。 ・年金事務所の体制確保が必要である。 ② 完全予約制のため、日程調整が合わず翌月の予約になることがある。 ③ 年金事務所の人員では体制が取れず労務士会からの応援が必要。 ④ 新型コロナウィルス感染症予防対策を講じる必要がある。

年金事務所	実施月	市区町村	事業名	回数	相談者数
鹿屋	毎月	曽於市	出張相談	10回	33人
	毎月	志布志市	出張相談	11回	101人
	毎月	錦江町	出張相談	1回	1人
奄美大島	隔月	喜界町	出張相談	6回	34人
	隔月	徳之島町	出張相談	12回	43人
	隔月	天城町	出張相談	5回	17人
	隔月	伊仙町	出張相談	6回	12人
	隔月	和泊町	出張相談	4回	12人
	隔月	知名町	出張相談	4回	12人
	隔月	与論町	出張相談	4回	15人
合　計		27市町村		168回	1,487人

※街角の年金相談センター鹿児島（オフィス）

	実施月	市町村	事業名	回数	
	毎月	鹿児島市（谷山）	出張相談	9回	
	毎月	霧島市	出張相談	9回	

	計画	実績	総括及び課題
自治体（県、市町村）	② 県、市町での年金制度研修	② 要望があった以下の県、市区町村で実施した 令和元年度は実施なし	【総括】 ・実施要請等なし 【課題】 ・積極的に広報が必要と思われる。

事務所	市区町村	実施日	場所	研修内容	参加

	計画	実績	総括及び課題
労働局関係機関	① 年金説明会の開催及び免除申請等の相談窓口の開設	① 各ハローワークにおける実施回数等は以下のとおり	【総括】 ○ 事務所所在地のハローワークで、主に失業者を対象とした年金説明会を実施。ハローワークの説明会では免除申請窓口を開設し免除申請書などの受付を行った。 【課題】 ○ 全説明会会場における申請書等の受付。申請窓口の開設に向けた体制作り。

事務所	ハローワーク	実施回数	対象者数
鹿児島北	ハローワークかごしま	44回	5,910人
鹿児島南	ハローワークプラザ	25回	573人
川内	ハローワーク	17回	401人
加治木	ハローワーク国分	28回	2,268人
加治木	ハローワーク大口	2回	36人
鹿屋	ハローワーク鹿屋	50回	2,368人
奄美大島	ハローワーク名瀬	33回	208人
合計	7か所	199回	11,764人
30年度実績		240回	14,635人

計画		実績	総括及び課題
教育機関	① 学生納付特例申請等の相談窓口の開設	① 鹿屋年金事務所で学生納付特例申請相談窓口開設	【総括】 ○本年度は大学（１校２日）において実施出来た。 【課題】 ○より多くの方へ周知を図るために、県内の大学校に依頼を行い、拡充を図る。

事務所	実施日	大学 専門学校		人数
鹿屋	6/26～ 6/27	鹿屋体育大学		10人

企業・団体等

① 従業員および事務担当者への年金制度説明会

① 企業の従業員及び事務担当者の事業状況は下表のとおり（※チラシ配布は、「予約相談」と「ねんきんネット」）

事務所	実施日（回数）	主な企業・団体等	事業内容	人数
鹿児島北	12/13	沖永良部学校 事務所職員	年金制度全般	12人
鹿児島南	8/28	鹿児島テレビ放（株）	年金制度説明	4人
鹿児島南	12/2	公益社団法人　鹿児島県農業・農村振興協会	年金制度説明	19人
川内	6/21	南日キューワ（株）	年金制度説明	７５人
鹿屋	5/31	鹿児島県アパレル協会	中国人実習生の国民年金加入	１１人
鹿屋	10/28			２４人
鹿屋	11/14	鹿児島県社会保険労務士会大隅支部	年金制度説明会	16名
合計	7回			161人

【総括】
① 事業所からの要望及び事業所の事務担当者が集まる機会を利用して、年金制度説明会を実施するとともに、事業所及び県内の金融機関に予約相談とねんきんネットの周知を行った。

【課題】
① 予約相談及びねんきんネットについては、未だ周知不足であり、取組を強化する。

<table>
<tr><th></th><th>計画</th><th>実績</th><th>総括及び課題</th></tr>
<tr><td>民間施設等</td><td>① 各地域の利便性の高い商業施設に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設</td><td>① 年金月間において以下のとおり実施
※詳細は「ねんきん月間」及び「年金の日」の取組にて報告

（比較）
平成３０年度初めて実施

本年度は１１月３０日が土曜日のため、県内年金事務所を開所し年金相談等を実施</td><td>【総括】
① 本年は商業施設等での開設は行わず。

【課題】
① 会場や相談者数を増やす方策（事前周知等）が必要。

② 他県では、事務所開所に加え、商業施設等での年金相談所の開設を行っている。

③ 出張相談以外の県内事務所の統一した事業実施を検討。</td></tr>
<tr><td>社会福祉施設</td><td>① 養護学校や養護施設等赴き、職員や保護者に対し年金制度説明の開設</td><td>① 施設からの依頼により、以下のとおり実施

<table><tr><th>事務所</th><th>実施日</th><th>施設</th><th>内容</th><th>人数</th></tr><tr><td>加治木</td><td>11/13</td><td>徳郎 嘉祥園</td><td>年金制度説明</td><td>10人</td></tr><tr><td>加治木</td><td>2/7</td><td>加治木養護学校</td><td>年金制度説明</td><td>10人</td></tr><tr><td>加治木</td><td>3/5</td><td>牧之原養護学校</td><td>年金制度説明</td><td>中止</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td>20人</td></tr></table></td><td>【総括】

① 老健施設や支援学校での制度研修については、施設の担当者や受給者の保護者等にも年金制度を周知でき、効果的であると思われる。

【課題】
① 令和２年度上期は中止。</td></tr>
</table>

○年金委員活動支援事業

計画

① 研修及び意見交換の実施

実績

① 実務研修会の実施状況（平成３１年度）

事務所	主な開催日（回数）	主な実施場所	年金委員	参加者
鹿児島北	11/15（1回）	鹿児島サンロイヤルホイテル	職域型	154人
鹿児島南	10/29（1回）	枕崎市妙見センター	職域型	142人
	11/26（１回）	鹿児島サンロイヤルホテル	職域型	174人
川内	11/19（1回）	薩摩川内市国際交流センター	職域型	92人
加治木	11/20（1回）	加音ホール	職域型	66人
鹿屋	11/21（1回）	鹿屋中央公民館	職域型	92人
	10/28（１回）	曽於市末吉総合センター	職域型	16名
	10/18（１回）	志布志市文化会館	職域型	9名
奄美大島	11/28（1回）	奄美振興会館	職域型	58人
合計	9回		職域型	803人

総括及び課題

【①の総括】
○ 職域型年金委員の研修会は、定期的に実施した。
○ 民生委員、年金委員を対象に研修会の実施。（１０項）

【①の課題】
○ 今後は、具体的な活動内容なども含めた実務研修会を開催する必要がある。
○ 全事務所での地域型年金委員の研修会の実施の必要がある。

【その他の研修活動】

全国年金委員研修会
１０月に、全国の職域型年金委員及び地域型年金委員の代表者を対象に、日本年金機構本部で研修を実施した。
鹿児島県からは、奄美大島年金委員が参加。

○年金委員活動支援事業

計画

① 研修及び意見交換の実施

実績

① 実務研修会の実施状況（平成３１年度）

事務所	主な開催日（回数）	主な実施場所	年金委員	参加者
鹿児島北	10/18	西之表市民会館	地域型	3人
鹿児島南	12/2	指宿なのはな館	地域型	40人
	1/15	枕崎市民会館	地域型	36人
加治木	10月	加治木年金事務所	地域型	2人
合計	４回		地域型	81人

総括及び課題

【①の総括】
○ 職域型年金委員の研修会は、定期的に実施した。
○ 民生委員、年金委員を対象に研修会の実施。

【①の課題】
○ 今後は、具体的な活動内容なども含めた実務研修会を開催する必要がある。
○ 全事務所での地域型年金委員の研修会の実施の必要がある。

【その他の研修活動】
○ 令和２年度上期は研修会等は中止。

計画

② 積極的な情報提供及びアンケートの実施

③ 委嘱数拡大に向けた取組

④ 年金委員表彰の実施

実績

②【職域型】各種啓発資料の送付
・新規適用事業所を対象に年金委員制度加入の案内送付

【地域型】各種啓発資料の送付
・地域型年金委員に対して情報誌「なごみ・便り」を作成し 6月、8月、10月、12月に発送した（委員数245名）
・地域型年金委員に対し「アニュアルレポート2018」発送
「年金委員［地域型］活動の手引き」の送付

事務所	実施月	勧奨内容	年金委員	対象数
鹿児島北	6月	事業所へ勧奨文書	職域型	131所
鹿児島北	8月	事業所へ勧奨文書	職域型	156所
鹿児島南	6月	事業所へ勧奨文書	職域型	326所
鹿児島南	11月～2月	事業所へ勧奨文書	職域型	387所
川内	6月	事業所へ勧奨文書	職域型	207所
川内	8月	事業所へ勧奨文書	職域型	21所
川内	2月	事業所へ勧奨文書	職域型	114所
奄美大島	11月	市町村へ推薦依頼文書	地域型	1市4町2村

④ 年金委員・健康保険委員表彰式（11/15 鹿児島サンロイヤルホテル）
主催：日本年金機構・全国健康保険協会
共催：社会保険委員会・社会保険協会
（※詳細は、「ねんきん月間」及び「年金の日」による取組にて報告）

総括及び課題

【②の総括】
○ 職域型及び地域型の啓発資料の送付については予定どおり実施できた。更に、地域型年金委員に対しては、地域調整課において情報誌「なごみ・便り」を作成し隔月で発送した。

【②の課題】
○ 職域型の委嘱拡大のために、未委嘱事業所にアンケートを送付するとともに、各種啓発資料の送付を行う必要がある。

【③の総括】
○ 勧奨文書等を発送した事務所もあったが、県全体の取組みにはならなかった。

【③の課題】
○ 全事務所がスケジュールを立て、年間を通じての職域型年金委員の委嘱数拡大の取組みを行う。地域型年金委員は、推薦母体となる市町村や関係機関のOB会等への積極的な取り組みが必要。

○令和２年度上期は、勧奨中止

④ 総括及び課題は「ねんきん月間」及び「年金の日」による取組にて報告。

○地域年金事業運営調整会議

計画	実績	総括及び課題
○平成３１年度第１回 鹿児島県地域年金事業運営調整会議の実施	第１回目　平成３１年６月２９日 第２回目　令和2年2月27日　（中止） 開催時間　１４：００～１６：００ 場　所　　鹿児島北年金事務所　3階会議室 ＜議事要旨＞ 　各議題、各委員から質疑、意見交換を行っていただき、「平成３０年度地域年金展開事業実施結果」および「令和元年度地域年金展開事業実施計画」について承認をいただいた。	【総括】 ○年金事務所が策定した地域年金展開事業を充実させるためのご意見を、各委員から多数いただいた。 ○2月は新型コロナウィルス感染症予防のため中止。 【課題】 ○出された意見に関して検討するとともに、事業実施（推進）の取組の中で改善図っていく。 ○令和2年度上期も開催中止。

◯「ねんきん月間」及び「年金の日」における取組

「ねんきん月間」：日本年金機構では、厚生労働省と協力して毎年１１月を「ねんきん月間」と位置付け、国民の皆さまに年金制度に対する理解を深めていただくため、全国各地で公的年金制度の普及・啓発活動を展開する。

「年金の日」：国民一人一 人に、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、１１月３０日（いいみらい）を「年金の日」に制定している。

取組	実績	総括及び課題
① 出張年金相談 （大規模商業施設）	① 令和元年11月30日（土） 鹿児島県内年金事務所を開所し、年金相談等を実施する。 	【総括】 ① 本年の11月30日は土曜日であり、県内年金事務所を開所し、年金相談等を実施。 【課題】 ① 他県では、例年のとおり商業施設で開所している。 ② 商業施設以外での鹿児島県として統一した取組を求められている。
① 年金委員表彰及び年金委員研修	① 年金委員表彰及び研修会を、**11月15日に　鹿児島サンロイヤルホテル**で実施しました。 表彰式は健康保険委員表彰と合同で行われ、鹿児島県社会保険委員会と鹿児島県社会保険協会の共催で行われた。（参加数１５４名） **平成31年度　年金委員・健康保険委員表彰式及び研修会** 	【総括】 ① 年金委員の表彰者数。 ＊ 厚生労働大臣表彰　１名 ＊ 理事長表彰　１名 ＊ 理事表彰　５名 ｌ 全国健康保険協会と合同しての表彰式実施は協力連携上も有効な方法である。 ｌ 社会保険委員会及び社会保険協会との共催も関係団体との連携を深める効果がある。 【課題】 令和2年度の表彰式は、被表彰者のみの参加で実施予定。

○「わたしと年金」エッセイ

日本年金機構では、公的年金制度の意義や、国民の皆さまとの結びつきなど、皆さまと一緒に考えていくことを目的として、応募者ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度との関わり、「わたしと年金」をテーマにしたエッセイを募集している。

＜エッセイ応募件数（鹿児島県）＞

	一般	学生	計
平成29年度	0件	17件	17件
平成30年度	１件	0件	１件
平成31年度	0件	３件	３件

＜エッセイ募集にかかるご支援、ご協力一覧＞

団体名	ご支援・ご協力内容
教育委員会	県内の公立高等学校への周知文書及びポスター、リーフレットの配付要請。
鹿児島県内学校（大学、高校、中学、各種学校、支援学校）	県内の学校への要請文書及びポスター掲示とリーフレットの配付依頼。
鹿児島県内市区町村	県内の自治体への要請文書及びポスター掲示とリーフレットの配付依頼

【総括及び課題】

平成３１年度は 、県立高等学校から3件の応募あり。

「わたしと年金」エッセイ 令和元年度作品

厚生労働大臣賞 岐阜県（高校生 女性）

平成２５年８月、父が亡くなって一ヶ月程経ったこの時期から、私は年金を受給しています。「遺族厚生年金」です。私が学校で年金のお話をきいてきた日の祖父との会話の中で知った事実でした。

小学四年生の夏休み、海水浴をしている最中、父は事故で亡くなりました。父の稼ぎと祖父の貯金とで新しい家を建て、あと半年で兄も小学校卒業、という矢先の事故でした。その出来事によって、一日にして弱冠十一歳の私は年金受給者となったのです。

家族の大黒柱が突然いなくなり、収入は激減、今まで以上の節約を強いられるかもしれないということは、幼かった私でも容易に想像できました。しかし母は、家計が苦しいことなど、一切私たちには話さなかったのです。父親がいないということで私たちに気をつかわせたくなかったのでしょう。表では気丈に振る舞っていても、パート勤務で年収280万円ほどの母にとって、私たち子ども2人と祖父母を養わないといけないということでどれほどの心労があったのか…。高校生になった今の私でも分かりかねるほどです。

中学2年生になったある日、大学進学をしたいと言った私のために、塾に通わせてもらいました。当然、その道に進むということはお金がかかることだと分かっていました。だから、この夢を諦めて就職した方が家計のためになるのではないかとか、自分がこんなこと言いだしたら迷惑じゃないかとか、たくさんの葛藤がありました。私たちをこんなにも助けてくれる遺族厚生年金がもしもらえなかったら？私は夢を追うことはできるのか？考える程に、決して怠ることなく保険料を納め続けていてくれた父への感謝の気持ちがあふれてくるのです。それと同時に、ノートがあり、ペンがあり、教科書がある環境下で勉強ができることが、「当たり前」ではないと、身の引き締まる思いです。

父が亡くなってから丸6年が経とうとしている令和元年の春、私は県内の私立高校に入学しました。学費のことを心配している私に対し、母が

「あんたの将来への投資だと思ってるから。芽依が頑張るなら応援するよ。」

そう言葉をかけてくれたのを今でも覚えています。これも、遺族年金によって少しうまれ

「わたしと年金」エッセイ 令和元年度作品

た心の余裕と、常に私たちの意志を尊重してくれる母だからうまれた言葉だと思いました。こんな背景があるから、いろいろな人の思いを背負っているから、私は国公立大学合格という目標を掲げ、夢を追えているのだと実感しています。私の夢への挑戦を支えてくれている遺族年金の支給も、成人までだと知りました。いつまでも「助けてもらう側」ではいられません。

今まで以上に努力し、社会の一員として貢献し、自立することが、一番の恩返しになるのではないだろうか。私はそう考えています。年金は老若男女問わずお互い様だと言い合える助け合いの制度だからです。そして私の母のように、いつかできる家族を守れる大人になりたいです。6年以上、人よりも早く年金に助けてもらっている私はなおさらだと思います。成人しておらず、まだ保険料を納付できない私ですが、その年齢に達した時、私と同じような境遇になってしまい、折角もった夢を手放そうとしている子どもたちを支える準備をしている、そんな意識に変わりました。

私のように不幸にあった子どもでも、他の子と同じように夢を追っていいんだよ、そんな風に背中を押してくれる、そして家族に心の余裕を与えてくれる、それが遺族年金だと思っています。少子高齢化が進む中での若者たちの負担は重くなるばかりです。しかし、自分たちが生まれた国を、日本という国にいる以上、平等に課せられる義務を果たしてこそ、一人の大人としての自立になると思います。今これを読んでいるあなたにも、いつ何がおこるかわかりません。まずは「知る」ことからはじめてみませんか。自分自身と、大切な人の笑顔をまもるために。

○年金セミナー担当者養成

教育機関での年金セミナーや自治体・関係機関・事業所等での年金制度説明会を担当する職員を 養成するために年金事務所毎にプロジェクトチームを作り研修するとともに、セミナー講師コン ペティション等を開催し技能研鑽を図る。

取組	実績	総括及び課題
① 年金セミナーコンペティション	① 年金月間に向けた取組として、各年金事務所内でセミナー講師養成のためのプロジェクトチームを作るとともに、九州地域第二部（熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）の各県代表によるコンペティション（競技会）を行った。 **「九州地域第二部管内年金セミナー講師コンペティション」** 日時：令和元年9月12日　場所：鹿児島北年金事務所会議室　参加：８組 	【総括】 ① 年金セミナーコンペは、それぞれに工夫した資料を用意し、互いの技能研鑽のためにいい企画となった。 今後も、セミナー講師養成のために毎年実施する。 ② 当県からは、鹿屋、鹿児島北年金事務所の２チームが参加 ※ 最優秀賞は鹿屋年金事務所の職員が受賞し、全国大会に出場した。 ※全国大会（令和元年10月24日～25日本部で開催）では花巻年金事務所が最優秀賞を受賞 【課題】 ① 全国大会においては、研修資料を工夫して加工したチームもあり、更に分かりやすく親しみやすくするためのソフトとハード面の工夫が必要。 ② コンペテションと実際のセミナーとの内容の検討が必要である。

３．これまでの会議における主なご提言への取組状況

日付	事業名	ご提言内容	対応状況	備考
平成３１年２月21日 平成30年度 第２回 運営調整会議	年金委員 活動支援事業	地域型年金委員の研修会の開催	「年金生活者支援給付金」の説明 ・鹿児島北：種子島地区で開催（地域型、職域型年金委員を対象） ・鹿児島南：枕崎市・指宿市で開催 ・加治木　：事務所で開催	
令和元年6月27日 令和元年度 第1回 運営調整会議	自動音声案内システム	高齢者に優しい電話案内、ガイダンスになっているか。	全国統一した音声案内システムになっており、鹿児島県内での変更は難しい。	
	エッセイ募集	「わたしと年金」の題目の変更はできないか。	全国規模の募集活動であり、題目の変更等は困難か。	

４．令和２年度事業計画

令和2年度　地域年金展開事業計画（上期）

令和2年度上期における地域年金展開事業は、お客様と対面する必要がある事業について一定の制約のもと実施するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しつつ事業を進めていく。

１．地域連携事業、年金セミナー事業

・年金エッセイの募集により、若い世代の年金制度に対する理解を深める

・年金制度説明会、市町村職員を対象とした研修会、年金セミナー等は原則実施しない

（教育機関等から開催要請があり、かつ感染防止対策の徹底が可能な場合に限り実施可能）

２．地域相談事業

・感染防止対策を徹底した上で実施

３．年金委員活動支援事業

・年金委員功労者表彰の実施に向けた準備を行う

・年金委員の委嘱勧奨は原則実施しない

４．地域年金事業運営調整会議

・上期は開催しない

令和2年度下期については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた日本年金機構本部からの指示に基づき、計画的に事業を実施する。